

丹波中学校だより 清流の辺

せい りゅう ほとり

平成27年4月6日(月)

No. 1

文責 丹波中学校長 梶原勝由

平成27年度がスタートしました。

校庭の桜が咲き始めた4月3日(金)、新任式を図書室で行いました。2年生の4名が椅子に毅然とした態度で着席していた姿には驚きました。みごとでした。身の引き締まる思いでした。

代表の廣瀬賢君から、「どんな先生が来るか、楽しみにこの日を待っていました。丹波中生として頑張りますので、よろしくお祈いします。」と力強いあいさつがありました。

この言葉に負けないように職員一同、力を合わせて学校を創っていききたいと思います。



新任職員紹介

平成26年度末の人事異動で、3名の職員が着任しました。新任職員を紹介します。



猿橋中学校からきました、齊藤光弘といいます。担当教科は数学です。2月で48歳になりました。中学1年、小学6年の息子と5歳の娘がいます。前任校は全校230人ほどでしたので、丹波中学校ではどのような生活が待っているのかよくわかりません。でも、4月に入ってから入学式までの間、村の方や先生方、生徒のみんなの様子を見て、丹波中学校の生活が楽しみになりました。丹波中のために精一杯頑張ります。よろしくお祈いします。



丹波中の皆さん、保護者の皆さん、こんにちは！西原小学校から異動してきました堀内理沙と申します。都留市出身です。3人兄弟の真ん中です。小学校からバスケットボールをしています。体を動かすことが大好きです。大学を卒業してからは2年間事務職員として働いていました。丹波山村で教員として始まるこの生活がとても楽しみです。よろしくお祈い致します。



忍野中学校からきました、校長の梶原勝由です。2度目の単身赴任です。非常にたのしみです。丹波山村の住人に早くなれるよう頑張ります。モットーは、「逃げない・めげない・諦めない」「目玉は黒く、心は白く」です。よろしくお祈いします。

平成27年度

経営方針

1 学校教育目標

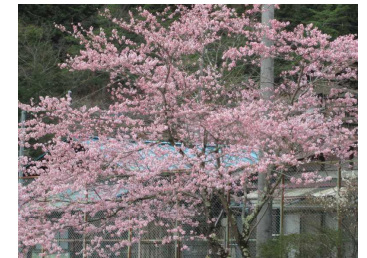
「心身ともに健康で 学びつづける人、思いやる人、やり通す人」

- (1) 基礎学力を身につけ、新しいものを生み出せる生徒
- (2) 思いやりの心を持ち、自己を見つめられる生徒
- (3) 進んで心身を鍛え、強い意志をもつ生徒
- (4) 全人的資質をそなえ、国際社会に適応できる生徒

2 目指す生徒像

【心豊かで自立できる生徒】

- ・自ら学習に取り組み、学力向上への意欲を持つ生徒
- ・集団の一員として自覚をもって行動できる生徒
- ・見方、考え方、感じ方がより深く、より広くできる生徒
- ・根気よく、粘り強く最後までやりぬく生徒
- ・友だちを大切に作る生徒
- ・規範意識を身に付けた生徒



丹波中生の4つの規範

- ① 爽やかなあいさつをする丹波中生
- ② 「ハイ」と言う返事が出来る丹波中生
- ③ 人の話をしっかり聞ける丹波中生
- ④ 時間を守る丹波中生

3 目指す教師像

【生徒への教育愛と教育者としての誇りを持つ教師】

- ・生徒の確かな学力向上のために、工夫と努力をする教師
- ・生徒のよい点を認め、さらに伸ばせる教師
- ・生徒に温かさとしんせきを持って接する教師
- ・常に自分を厳しく律する教師
- ・常に研修に励み、実践力の向上に努める教師
- ・あせらず、あきらめず、着実に長い目で生徒を育む教師
- ・教育者としての自覚と責任を持ち、教職員との協調性を大切にする教師

今、世界には約70億人、日本には、約1.2億人の人がいます。

この丹波山の地で、7人の生徒の出合いました。これはまさに一期一会です。7人の生徒が夢と希望を持ち続け、自ら学び考え行動する「たくましい力」と、他者を思いやり、社会との絆を深める「しなやかな心」の育成に取り組んでいきます。そのためには、保護者の方のご協力、地域の方のご支援が不可欠となります。何とぞ、よろしくお祈いいたします。

